

御義口伝序講

目次

御義口伝 序講	一
---------	---

第一章 御義口伝の由来	三
-------------	---

(一) 日蓮大聖人と御義口伝	三
----------------	---

(1) 御義口伝の地位	三
-------------	---

(2) 広宣流布実現の時	六
--------------	---

(3) 伝承の経過	九
-----------	---

(二) 御義口伝の大意	一四
-------------	----

(1) 宗教の極理論	一四
------------	----

(2) 生命の本質論	一七
------------	----

(3) 永遠の幸福論	二〇
------------	----

第二章 疑難ぎなんを破す……………二三

(一) 本文に対する疑難……………二三

(1) 補註そちゆまたは科註かちゆの文……………二三

(2) 弘安元年正月一日の文……………二五

(3) 執行海秀等の愚論……………二六

(二) 後人の加筆に対する疑難……………二九

(1) 当体蓮華抄の文……………二九

(2) 老僧の所望等の文……………二九

(3) 高祖の御義等の文……………三〇

御義口伝 本講……………三三

御義口伝目録……………三五

南無妙法蓮華經なんみょうほうれんげきやう……………四五

御義口伝 卷上……………八三

序品七箇の大事……………八三

第一 如是我聞の事……………八五

第二 阿若憍陳如の事……………九七

第三 阿闍世王の事……………一〇六

第四 仏所護念の事……………一二七

第五 下至阿鼻地獄の事……………一三二

第六 導師何故の事……………一四九

第七 天鼓自然鳴の事……………一五五

方便品八箇の大事……………一六九

第一 方便品の事……………一七一

第二 諸仏智慧甚深無量其智慧門の事……………一六六

第三 唯以一大事因縁の事……………二三一

第四 五濁の事……………二五二

第五 比丘比丘尼有懷増上慢優婆塞我慢優婆夷不信の事……………二六六

第六 如我等無異如我昔所願の事……………二八四

第七	於諸菩薩中正直捨方便の事	三〇七
第八	当来世惡人聞仏説一乘迷惑不信受破法隨惡道の事	三一一
譬喩品九箇の大事		
第一	譬喩品の事	三二七
第二	即起合掌の事	三三八
第三	身意泰然快得安穩の事	三四三
第四	得仏法分の事	三五三
第五	而自廻轉の事	三六〇
第六	一時俱作の事	三七〇
第七	以譬喩得解の事	三七五
第八	唯一門の事	三九〇
第九	今此三界等の事	三九四
信解品六箇の大事		
第一	信解品の事	四〇三
第二	捨父逃逝の事	四一九

第三	加復窮困の事	四三四
第四	心懷悔恨の事	四三八
第五	無上宝聚不求自得の事	四三三
第六	世尊大恩の事	四四一

藥草喻品五箇の大事	四五三
-----------	-----

第一	藥草喻品の事	四五五
第二	此の品述成段の事	四六〇
第三	雖一地所生一雨所潤等の事	四六六
第四	破有法王出現世間の事	四七六
第五	我觀一切・普皆平等・無有彼此・愛憎之心・我無貪著・亦無限礙の事	四八二

授記品四箇の大事	四八九
----------	-----

第一	授記の事	四九一
第二	迦葉光明の事	四九九
第三	捨是身已の事	五〇三

第四	宿世因縁吾今当説の事	五〇九
----	------------	-----

化城喻品七箇の大事	五二三
-----------	-----

第一	化城の事	五二五
----	------	-----

第二	大通智勝仏の事	五三五
----	---------	-----

第三	諸母涕泣の事	五三〇
----	--------	-----

第四	其祖転輪聖王の事	五三五
----	----------	-----

第五	十六王子の事	五四一
----	--------	-----

第六	即滅化城の事	五四六
----	--------	-----

第七	皆共至宝処の事	五五一
----	---------	-----

五百弟子品三箇の大事	五五五
------------	-----

第一	衣裏の事	五五七
----	------	-----

第二	醉酒而臥の事	五六〇
----	--------	-----

第三	身心遍歡喜の事	五六五
----	---------	-----

人記品二箇の大事	五六九
----------	-----

第一	學無學の事	五七一
第二	山海慧自在通王仏の事	五七五
法師品	十六箇の大事	五八一

第一	法師の事	五八三
第二	成就大願愍衆生故生於惡世広演此經の事	五八七
第三	如來所遣行如來事の事	五九三
第四	与如來共宿の事	五九五
第五	是法華經藏深固幽遠無人能到の事	五九八
第六	聞法信受隨順不逆の事	六〇三
第七	衣座室の事	六〇五
第八	欲捨諸懈怠怠當聽此經の事	六〇九
第九	不聞法華經去仏智甚遠の事	六一二
第十	若説此經時有人惡口罵加刀杖瓦石念仏故忍の事	六一五
第十一	及清信士女供養於法師の事	六一八
第十二	若人欲加惡刀杖及瓦石則遣變化人為之作衛護の事	六二二

第十三 若親近法師速得菩薩道の事 六三四

第十四 随順是師学の事 六三六

第十五 師と学との事 六三九

第十六 得見恒沙仏の事 六三三

宝塔品廿箇の大事 六三七

第一 宝塔の事 六三九

第二 有七宝の事 六四四

第三 四面皆出の事 六四七

第四 出大音声の事 六五一

第五 見大宝塔住在空中の事 六五六

第六 国名宝浄彼中有仏号曰多宝の事 六六〇

第七 於十方国土有説法華經処我之塔廟為聴是經故涌現其前為作証明讃言善哉の事 六六四

第八 南西北方四惟上下の事 六六九

第九 各齋宝華滿掬の事 六七三

第十 如却闕鑰開大城門の事 六七七

第十一	撰諸大衆皆在虛空の事	六八二
第十二	譬如大風吹小樹枝の事	六八六
第十三	若有能持則持仏身の事	六八九
第十四	此經難持の事	六九三
第十五	我則歡喜諸仏亦然の事	六九六
第十六	誦持此經の事	六九九
第十七	是真仏子の事	七〇二
第十八	是諸天人世間之眼の事	七〇五
第十九	能須臾説の事	七〇九
第二十	此經難持の事	七一二

提婆達多品八箇の大事	七二七
------------	-----

第一	提婆達多の事	七二九
第二	若不違我當為宣説の事	七三七
第三	採菓汲水拾薪設食の事	七三一
第四	情存妙法故身心無懈怠の事	七三四

第五	我於海中唯常宣說の事	七三七
第六	年始八歳の事	七四一
第七	言論未訖の事	七四八
第八	有一宝珠の事	七五六
勸持品十三箇の大事		七六三

第一	勸持の事	七六五
第二	不惜身命の事	七七一
第三	心不実故の事	七七七
第四	敬順仏意の事	七八〇
第五	作師子吼の事	七八二
第六	如法修行之事	七八五
第七	有諸無智人の事	七八九
第八	惡世中比丘の事	七九二
第九	或有阿練若の事	七九五
第十	自作此經典の事	七九九

第十一	為斯所輕言汝等皆是仏の事	八〇一
第十二	惡鬼入其身の事	八〇四
第十三	但惜無上道の事	八〇七
安樂行品五箇の大事		
第一	安樂行品の事	八一五
第二	一切法空の事	八二〇
第三	有所難問不以小乘法答等の事	八二五
第四	無有怖畏加刀杖等の事	八二六
第五	有人來欲難問者諸天昼夜等の事	八三一
涌出品一箇の大事		八三五
第一	唱導之師の事	八三七